

## 第 302 回塑性加工シンポジウム

### 「グローバル時代に中小鍛造メーカーの目指すべき方向性」

日 時：平成 25 年 5 月 16 日（木） 9：50～17：00

会 場：名古屋大学工学部工学研究科中央棟（ES 総合館）ES ホール [〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TEL052-789-5345]

交 通：地下鉄名城線名古屋大学駅2番出口 (<http://chez.jiroud.jp/pdf/campus%20map.pdf> C2④の建物)

主 催：日本塑性加工学会（実行：鍛造分科会）

協 賛：軽金属学会，精密工学会，日本機械学会，日本金属学会，日本材料学会，日本トライボロジー学会，型技術協会，日本鉄鋼協会，粉体粉末冶金協会，大阪金属プレス工業会，日本金属プレス工業協会，日本鍛造協会，日本ねじ工業協会，アルミニウム鍛造技術会，素形材センター

趣 旨：経済のグローバル化や新興国の発展によって新興国が輸出先から生産拠点へとなり，国内工場は世界のマザー工場としての役割を求められるようになってきています。日本が得意としてきた垂直統合型の擦り合わせによる物づくりの中核を担ってきた中小鍛造メーカーが，国内で生き残っていくためには，環境負荷を考慮しながら品質，コスト面での技術革新を継続していかねばなりません。本シンポジウムでは，グローバル化の中で国内の中小鍛造メーカーが目指す方向性，サポイン事業を活用した技術開発，人材育成に関して，アジア周辺諸国（中国）の状況も含めて討論します。

プログラム：開会の辞（9：50～10：00）

日本塑性加工学会鍛造分科会主査

五十川幸宏君

午前の部（10：00～12：00）

司会 名古屋工業大学

北村 憲彦君

午後の部（13：00～16：30）

司会 コマツ

三吉 宏治君

時 間	内 容	講 師
10:00～10:40	<b>トヨタのモノづくり革新と塑性加工技術の果たす役割</b> ：リーマンショックや東日本大震災を境に，当社を取り巻く環境は激変し，モノづくりのパラダイムチェンジが求められている。今回は，当社におけるグローバル生産に対応するための生産技術の構築，日本ならではの生産技術の追求についての取り組みを紹介する。	トヨタ自動車（株） 森下 弘一君
10:40～11:20	<b>建設機械における生産拠点のグローバル化</b> ：小松製作所建設機械における生産のグローバル化の進展状況（輸出→海外生産→グローバル連結経営）を報告するとともに競争力を維持し続けるための国内工場と海外工場の役割分担及び生産区分の考え方について報告する。	コマツ 大谷 敏郎君
11:20～12:00	<b>国内拠点の高度化と海外営業面積の拡大をはかる鍛造業界～ビジョンとアクション～</b> ：平成 25 年 3 月末に策定予定の「新素形材産業ビジョン」を紹介するとともに，優れたモノ作り中小企業における共通点と工業団体における活性化の取り組みについて報告する。	経済産業省 堀 琢磨君
12:00～13:00	昼 食・休 憩	
13:00～13:40	<b>加工速度制御鍛造による高精度ヘリカルギヤの開発</b> ： サーボプレスに多機能ダイセットを組込み，加工速度と位置を制御することで，より高精度なヘリカルギヤを目指した冷間鍛造の開発，取り組みを紹介する。	上板塑性（株） 有馬 達男君
13:40～14:20	<b>複動ダイセットを用いたバリなし鍛造による複雑形状部材の低コスト量産化技術の開発</b> ：3D アニメによる動作検証および流動解析による製品の健全性の検証をもとにした，ボデー（一般名称）の安定的生産を可能とする閉塞鍛造ダイセットの開発を紹介する。	まこと工業（株） 各務 嘉恭君
14:20～15:00	<b>環境対応の高熱効率鍛造加熱法の開発と実用化</b> ：赤外線加熱理論に基づき，熱処理プロセスに於ける各工程での素形材やデバイスの温度安定化により，熱処理製品のコスト低減や機能・品質向上に貢献する「高効率遠赤外線加熱技術」の紹介を行う。	（株）ワイエイシイ デンコー 阿部 範良君
15:00～15:10	休 憩	
15:10～15:50	<b>日本でハンマー鍛造を続けていくために</b> ：グローバル化の中で国内でハンマー鍛造を続けて行く上で必要な(1)人材育成（営業・設計・鍛造現場・金型加工），(2)新規顧客の開発，(3)少ロット多品種多鋼種へ対応しお客様の試作工場を目指す取り組みについて紹介する。	（株）山崎機械製作所 山川 恵則君
15:50～16:30	<b>中国の鍛造鋼材および材料からみた中国の鍛造業界の現状と今後の動向</b> ：中国鍛造業界および鍛造用鋼の現状，中国鉄鋼メーカー，特に特殊鋼メーカーの動向から今後の鍛造業界の発展方向を紹介する。	河北鉄鋼集団・石家庄鋼鉄（中国） 齐 建军君
16:30～17：00	総合討論：	司 会 五十川幸宏君

定 員：120 名（定員超過の場合はご連絡します。）

参加費	事前申込（5月9日必着）	5月10日～当日
会員・協賛學員 （個人会員）	8,000 円	10,000 円
学 生	4,000 円	5,000 円
一 般	12,000 円	15,000 円

（注）参加費にはいずれもテキスト代含む。5月9日（必着）までにお申込みください。  
テキストのみは行事終了後残部があれば対応いたします。

申込方法：日本塑性加工学会ホームページ(<http://www.jstpr.jp>)【行事のご案内】のページよりお申し込みください。参加券，請求書等をお送りします。なお，お支払は請求書到着後2週間以内にお願いたします。

注）昼食は各自でお願いします。また講演中の撮影・録音は禁止します